

第五類
航空

0827

●航空機ノ名稱

昭和十九年十一月二十日
內令兵第八七號

航空機ノ名稱左ノ通定ム

昭和十九年内令兵第二七號ハ之ヲ廢止ス

〔軍械內八〕

種別	航空機	名稱	兵器採用年月	記	事
實用機	雷	電 一 一 型	昭和十九年 十月	乙戰開機(火星發動機二三型裝備)	
同	雷	電 二 一 型	昭和十九年 十月	雷電一型ノ翼内銃ヲ九九式二十耗一號固定機銃四型二挺同二號固定機銃四型二挺トセルモノ	
同	雷	電 三 一 型	昭和十九年 十月	雷電二型ノ風房其ノ他ヲ改造シ視界改善セルモノ	
同	紫	電 一 一 型	昭和十九年 十月	乙戰開機(譽發動機二一型裝備)	
同	紫	電 一 二 甲 型	昭和十九年 十月	紫電一型ノ翼銃ヲ九九式二十耗二號固定機銃三型ニ變更セルモノ	
同	月	光 一 一 型	昭和十八年 八月	二式陸上偵察機ヲ夜間戦闘機ニ改造セルモノ	
同	月	光 一 一 甲 型	昭和十九年 十月	譽發動機二一型ニ基裝備ノモノ	
同	九 六 式 艦 上 戰 闘 機	昭和十四年 二月	月光一型ノ前下方斜銃ヲ廢シ前上方ニ九九式二十耗二號固定機銃四型一挺ヲ増設セルモノ		
同	零 式 艦 上 戰 闘 機 二 一 型	昭和十五年十二月	譽發動機四一型又ハ四二型裝備ノモノ		
同	零 式 艦 上 戰 闘 機 二 二 型	昭和十八年 一月	九六式四號艦上戦闘機ト呼稱セルモノ		
同	零 式 艦 上 戰 闘 機 二 二 型	昭和十八年 一月	譽發動機一型裝備ニシテ主翼折疊裝置ヲ有スルモノ		
同	零 式 艦 上 戰 闘 機 二 二 型	昭和十八年 一月	零式一號艦上戦闘機二型ト呼稱セルモノ		
同	零 式 艦 上 戰 闘 機 二 二 型	昭和十九年 十月	譽發動機二一型裝備ニシテ翼幅一二米且翼内ニ燃料油タンク増設セルモノ		
同	零 式 艦 上 戰 闘 機 三 二 型	昭和十八年 一月	零式艦上戦闘機二三型ノ翼内銃ヲ九九式二十耗二號固定機銃三型ニ變更セルモノ		
同	零 式 艦 上 戰 闘 機 五 二 型	昭和十八年 八月	榮發動機二一型裝備ニシテ翼幅一一米且翼端部形狀整形セルモノ		
同	零 式 艦 上 戰 闘 機 五 二 甲 型	昭和十九年 十月	零式艦上戦闘機五二型ノ翼内銃ヲ九九式二十耗二號ノ固定機銃四型ニ變更セルモノ		

第五類 航空 航空機ノ名稱

二五

0829

二六ノ二

軍極内八

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

二六ノ二

0831

二六ノ三

輸送機	九六式陸上輸送機	一一型	昭和十四年六月	金星發動機二、三、四一、四二型二基裝備ノモノ
同	九六式陸上輸送機	一二型	昭和十六年五月	九六式陸上攻撃機ヲ特殊輸送機ニ改造セルモノ
同	九〇式陸上輸送機		昭和十五年十二月	九六式陸上輸送機二型ト呼稱セシモノ
同	零式輸送機	一一型	昭和十八年五月	九〇式陸上機上作業練習機ヲ輸送機ニ改造セルモノ
同	零式輸送機	一二型	昭和十八年五月	(D)二號輸送機一型ト呼稱セシモノ 金川發動機四三型(二基裝備)
同	零式輸送機	二二型	昭和十八年五月	過荷重五〇、一二、五〇〇底トシ金星發動機五一、五二、五三型二基裝備ノモノ
同	零式輸送機	二三甲型	昭和十九年十月	零式輸送機二二型ノ側方ニ七耗九旋回機構一及二式十三耗(又ハ七耗九)旋回機構二、上方ニ二式十三耗(又ハ七耗九)旋回機構一裝備ノモノ
同	零式荷物輸送機	一一型	昭和十七年二月	(D)二號荷物輸送機ト呼稱セシモノ (零式輸送機一型ヲ荷物輸送機ニ改造セルモノ)
同	零式荷物輸送機	二二型	昭和十九年十月	零式輸送機二二型ヲ荷物輸送機ニ改造セルモノ
同	零式荷物輸送機	二三甲型	昭和十九年十月	零式輸送機二二甲型ヲ荷物輸送機ニ改造セルモノ
同	一式陸上輸送機	一一型	昭和十六年十月	從來一式大型陸上練習機一型ト呼稱セシモノヲ特殊輸送機ニ改造セルモノ
同	九七式輸送機	送艇	昭和十四年七月	九七式飛行艇一型ヲ輸送機ニ改造セルモノ
特殊機	一式標的機	一一型	昭和十七年五月	發動機裝備標的機
若	草一一型		昭和十九年三月	初歩練習用滑空機
練習機	三式陸上初歩練習機		昭和七年三月	神風發動機二型裝備ノモノ
同	二式陸上初歩練習機	一一型	昭和十八年六月	三式二號陸上初歩練習機ト呼稱セシモノ
同	零式水上初歩練習機		昭和十五年六月	初風發動機一型裝備ノモノ
同	九三式陸上中間練習機		昭和九年一月	天風發動機一型裝備ノモノ
同	二式陸上中間練習機	一一型	昭和十八年六月	添發動機二型改二裝備ノモノ

「罪極内八」

三六ノ四

練習機	九三式水上中間練習機	昭和九年一月	九三式陸上中間練習機ヲ水上機トセルモノ
同	九〇式陸上機上作業練習機	昭和十三年十一月	齊發動機二型改一又ハ二型改三裝備ノモノ 九〇式二號陸上機上作業練習機ヲ呼稱セシモノ
同	白 菊一一型	昭和十九年三月	機上作業練習機 天風發動機二一型裝備ノモノ
同	白 菊二一型	昭和十九年三月	自菊一一型偵察練習員席ヲ四座ニ改造セルモノ
同	二式練習用戦闘機	昭和十七年十二月	九六式四號陸上戦闘機(齊發動機四一型裝備)ヲ練習機ニ改造セルモノ
同	零式練習用戦闘機	昭和十九年三月	零式艦上戦闘機二一型ヲ練習機ニ改造セルモノ
同	九六式練習用爆撃機	昭和十六年十二月	九六式艦上爆撃機ヲ練習機ニ改造セルモノ
同	九七式練習用攻撃機 一一型	昭和十六年十二月	九七式艦上攻撃機一一型ヲ練習機ニ改造セルモノ 九七式一號練習機用攻撃機ト呼稱セルモノ
同	零式練習用水上偵察機	昭和十九年三月	零式水上偵察機一一型ヲ練習機ニ改造セルモノ
同	二式練習用飛行艇 一一型	昭和十七年二月	齊發動機四二型二基裝備ノモノ
實驗機	假稱 雷電 三二型		雷電三二型ニ排氣タービン過給器並ニ前上方ニ九九式二十耗二號固定機銃四型二挺ヲ裝備セルモノ
同	假稱 紫電 一一乙型		紫電一一甲型ノ翼銃ヲ九九式二十耗二號固定機銃四型ニ變更シ全部翼内裝備トセルモノ
同	試製 紫電 改		紫電一一型ノ機體改造及兵裝強化セルモノ
同	試製 紫電 改 一		試製紫電改ノ胴體内ニ三式十三耗固定機銃一型二挺ヲ増備シ燃料油タンクヲ内袋形防彈タンクトセルモノ
同	試製 紫電 改 二		試製紫電改一ヲ艦上戦闘機ニ改造セルモノ
同	試製 天雷		陸上戦闘機(齊發動機二一型二基裝備)
同	試製 極光		試製銀河ヲ夜戰用ニ改造セルモノ (火鼠發動機二五型二基裝備) 零式艦上戦闘機五二型ノ發動機ヲ榮發動機三一型(水メタノール噴射)ニ換裝ノモノ
同	假稱零式艦上戦闘機 五三丙型		

同	試	製	彩	雲	艦上偵察機（譽發動機二一型裝備）
同	試	製	彩	雲	試製彩雲ニ排氣タービン過給器ヲ裝備ノモノ
同	試	製	彩	雲	艦上偵察機（譽發動機二四型裝備）
同	假	稱	銀	河	試製銀河ノ航続力攻撃力ヲ増大セルモノ
同	假	稱	銀	河	艦上爆撃機（金星發動機六一型又ハ六二型裝備）
同	假	稱	銀	河	銀河三三型ノ後席上方ニ、二式十三耗旋回機銃一裝備ノモノ
同	假	稱	銀	河	一式陸上攻撃機二四乙型ノ前方ニ三式十三耗旋回機銃一裝備ノモノ
同	假	稱	銀	河	一式陸上攻撃機二四丙型ノ防弾ヲ強化シ
同	假	稱	銀	河	兵器搭載可能ノモノ
同	假	稱	銀	河	一式陸上攻撃機二四型ノ發動機ヲ火星發動機二五乙型（噴射式）ニ基換
同	假	稱	銀	河	一式陸上攻撃機二四型ノ發動機ヲ完全防禦トシ火星發動機二五型ニ基換
同	假	稱	銀	河	護發動機一、二型四基裝備ノモノ輸送機トシテ使用
同	假	稱	銀	河	天山一二型ノ發動機ヲ火星發動機二五乙型（噴射式）ニ基換
同	試	製	流	星	艦上爆撃機（譽發動機一一型又ハ一二型裝備）
同	試	製	流	星	哨戒機（陸上機）（天風發動機三一型ニ基裝備）
同	試	製	流	星	特殊機（潜水艦用）（アツタ發動機三二型裝備）
同	試	製	流	星	試製晴嵐ヲ陸上機トナセルモノ
同	假	稱	瑞	雲	水上偵察機（降下爆撃可能）（金星發動機六二型裝備）
同	假	稱	瑞	雲	二式飛行艇（二型ニ防弾ヲ實施セルモノ）
同	假	稱	瑞	雲	（火星發動機二二型四基裝備）

〔軍格内八〕

0834

二六六

0835

●飛行機射出機ノ名稱

昭和八年八月一日
内令兵第四十六號

改正 昭和三年第五二號、一五年第五一號、一六年第七九號

飛行機射出機ノ名稱ヲ左ノ通定ム

昭和八年内令兵第二十二號ハ之ヲ廢止ス

〔軍械内八〕

新 名 稱	舊 名 稱	兵器採用年月日	記 事
吳式一號射出機一型	吳式一號射出機	昭和五年一月三十日	壓搾空氣ヲ用ヒ總重量二、〇〇〇斤以內ノ飛行機ヲ射 出シ得ルモノ
吳式一號射出機二型		昭和八年七月十五日	壓搾空氣ヲ用ヒ總重量一、二〇〇斤以內ノ飛行機ヲ射 出シ得ルモノ
吳式一號射出機三型		昭和十五年十月二十一日	壓搾空氣ヲ用ヒ總重量一、五〇〇斤以內ノ飛行機ヲ射 出シ得ルモノ
吳式一號射出機三型改一		昭和十五年十月二十一日	吳式一號射出機三型ト同型式ノモノニシテ射出速度一 米ノ増加セルモノ
吳式一號射出機四型	假稱吳式一號射 出機四型	昭和十五年十月二十一日	壓搾空氣ヲ用ヒ總重量一、六〇〇斤以內ノ飛行機ヲ射 出シ得ルモノ
吳式二號射出機一型	吳式二號射出機	昭和五年一月三十日	裝藥ヲ用ヒ總重量二、〇〇〇斤以內ノ飛行機ヲ射出シ 得ルモノ
吳式二號射出機二型		昭和五年十月十六日	裝藥ヲ用ヒ總重量一、七〇〇斤以內ノ飛行機ヲ射出シ 得ルモノ
吳式二號射出機三型		昭和七年八月十二日	裝藥ヲ用ヒ總重量三、〇〇〇斤以內ノ飛行機ヲ射出シ 得ルモノ
吳式二號射出機三型改一		昭和八年一月十八日	吳式二號射出機三型ノ滑走臺ノ高サヲ低クシ旋回ノ中 心ヲ滑走臺ノ中央ニ近クセルモノ
吳式二號射出機三型改二		昭和八年一月十八日	吳式二號射出機三型ノ操縦臺ヲ滑走臺ノ後端ニ裝備セ ルモノニシテ旋回支筒低キモノ
吳式二號射出機四型		昭和八年六月二十九日	裝藥ヲ用ヒ總重量三、〇〇〇斤以內ノ飛行機ヲ射出シ 得ルモノ

第五類 航空 飛行機射出機ノ名稱

二六ノ七

0836

第五類 航空 飛行機射出機ノ名稱

二六ノ八

一式二號射出機一〇型	大型射出機	昭和十六年十月一日	裝藥ヲ用ヒ總重量四、〇〇〇觔以內ノ飛行機ヲ射出シ得ルモノニシテ吳式二號射出機三型ト同型式ノモノ
吳式二號射出機五型	假稱吳式二號射出機五型	昭和十三年十月二十一日	吳式二號射出機五型ノ滑走臺ノ前方七米ヲ仰角六〇度迄折リ曲得ル如クセルモノ
吳式二號射出機五型改一		昭和十五年十月二十一日	裝藥ヲ用ヒ總重量四、五〇〇觔以內ノ飛行機ヲ射出シ得ルモノニシテ吳式二號射出機五型ト同型式ノモノ

0837

●射出機用藥莢製造検査ニ關

スル件

昭和十四年一月二十三日
内令兵第三號

射出機用藥莢製造検査ニ關スル件左ノ通定ム
射出機用藥莢ノ製造検査ニ關シテハ左記ニ依ルノ外砲
銃主要兵器試験検査規則ノ藥莢ニ關スル規定ヲ準用ス
ベシ

記

一 水銀試験ノ試料ハ截斷長莢底ヨリ一〇〇耗ノ莢底
部トス

二 打殼藥莢ハ左ノ各號ニ適合スルモノハ修理シ然ラ
ザルモノハ之ヲ廢却スベシ

(一) 罅裂潰傷ナク變形小ニシテ整形ニ依リ強度ニ惡
影響ヲ及ボス虞ナキモノ

(二) 火管傳火藥筒熔融滴下ノ痕跡ナキモノ

第五類 航空 射出機用藥莢製造検査ニ關スル件

(三) 既往修理同數三回以内ノモノ
修理藥莢ノ寸法検査認許量左ノ如シ

〔軍械内三〕

底飯・鐳部・莢口 及 胴 部 肉 厚	火管孔 螺 内 徑
圖面認許量ニ加フルコ ト更ニ一〇・二耗以内	圖面認許量ニ加フルコ ト更ニ一〇・四耗以内

四 發射試験ハ之ヲ行ハズ

0838

●射出機裝藥包ノ名稱及用途

昭和十六年一月二十二日
内令兵第三號

射出機裝藥包ノ名稱及用途左ノ通定ム

昭和十三年内令兵第五十三號ハ之ヲ廢止ス

機 出 射		名 稱	裝 藥 包
八 型	六 型	使 用 射 出 機	使 用 飛 行 機
吳式二號射出機 吳式二號射出機 吳式二號射出機 吳式二號射出機	吳式二號射出機 吳式二號射出機 吳式二號射出機 吳式二號射出機 吳式二號射出機 吳式二號射出機 吳式二號射出機 吳式二號射出機	三型 三型改一 三型改二 四型 五型 五型改一	九四式水上偵察機 九八式水上偵察機
九五式水上偵察機			

0839

包 藥 裝			
一二型	一二型	一〇型	九型
吳式二號射出機 五型改一	吳式二號射出機 四型 吳式二號射出機 三型改二 吳式二號射出機 三型改一 吳式二號射出機 三型	吳式二號射出機 五型改一 吳式二號射出機 五型	吳式二號射出機 五型改一 吳式二號射出機 五型
零式一號觀測機 一型	零式一號觀測機 一型	零式一號水上偵察機 一型	九五式水上偵察機

〔軍械内三〕

0840

●飛行機著艦制動装置使用標準

昭和八年一月十八日
内令第六號

改正 昭和九年第二號

飛行機著艦制動装置使用標準左ノ通定ム

飛行機著艦制動装置使用標準

一、吳式飛行機著艦制動装置一型

使用飛行機	龍驤裝備ノモ		鳳翔裝備ノモ	
	制動目盛(疋)	最少所要合成風速(米秒)	制動目盛(疋)	最少所要合成風速(米秒)
三式艦上戦闘機	五〇〇	九	一	六
九〇式艦上戦闘機	一、〇〇〇	〇	三	〇
一三式艦上攻撃機	機重 二、五〇〇疋以下ハ一、五〇〇〇 二、五〇〇疋以上ハ一、五〇〇〇	九	機重 二、五〇〇疋以下ハ三 二、五〇〇疋以上ハ四	四
其ノ他	機重ニ相當スル目盛	〇	機重ニ相當スル目盛	〇

二、萱場式飛行機著艦制動装置二型

0841

三、「フュー」式飛行機著艦制動装置

使用飛行機	制動目盛	最少所要合成風速 (米/秒)
三式艦上戦闘機	機重ニ應ズル目盛	八
一三式艦上攻撃機		
其ノ他		

(軍極内三)

艦上戦闘機	艦上機重	制動目盛(應)	最少所要合成風速 (米/秒)
機重二五〇〇瓩及以下	一、六〇〇〇	上記以外ハ上記ノ比例ニ依ル	〇五
機重三、〇〇〇瓩	一、三〇〇〇		
機重三、六〇〇瓩	一、五〇〇〇		

第五類 航空 飛行機著艦制動装置使用標準

二八ノ三

0842

第五類 航空 各海軍航空隊、航空母艦等航空機平時訓練用更新年額

二八ノ四

●各海軍航空隊、航空母艦等
航空機平時訓練用更新年額

昭和十五年一月二十三日
内令兵第五號

各海軍航空隊、航空母艦、水上機母艦及飛行機搭載艦
教育年度航空機平時訓練用更新年額ハ別紙算定率ニ依
ルコトニ之ヲ定ム

0843

教 育 年 度 更 新 数 算 定 率						
陸上部隊ノ部						
機 種	名 稱	更 新 数	機 種	名 稱	更 新 数	
練 習 機 (陸上、水上)	機 體	常備數 × 0.25	水 上 偵 察 機	機 體	常備數 × 0.5	
	發 動 機	同 × 0.25		發 動 機	同 × 0.5	
	プロペラ	同 × 0.3		プロペラ	同 × 0.6	
艦 上 戦 闘 機	機 體	同 × 0.6	小 型 飛 行 艇	艇 體	同 × 0.3	
	發 動 機	同 × 0.5		發 動 機	同 × 0.4	
	プロペラ	同 × 0.8		プロペラ	同 × 0.5	
艦 上 爆 撃 機	機 體	同 × 0.3	中 大 型 飛 行 艇	艇 體	同 × 0.3	
	發 動 機	同 × 0.4		發 動 機	同 × 0.3	
	プロペラ	同 × 0.6		プロペラ	同 × 0.5	
艦 上 攻 撃 機	機 體	同 × 0.3	陸 上 攻 撃 機	機 體	同 × 0.2	
	發 動 機	同 × 0.4		發 動 機	常用數 × 0.4	
	プロペラ	同 × 0.5		プロペラ	常備數 × 0.2	
研 究 機	機(艇)體	同 × 0.4				
	發 動 機	同 × 0.4				
	プロペラ	同 × 0.5				
母 艦 ノ 部						
艦 上 戦 闘 機	機 體	常備數 × 1.0	艦 上 攻 撃 機	機 體	常備數 × 0.8	
	發 動 機	同 × 0.75		發 動 機	同 × 0.6	
	プロペラ	同 × 0.75		プロペラ	同 × 0.6	
艦 上 爆 撃 機	機 體	同 × 0.9	水 上 偵 察 機	機 體	同 × 1.0	
	發 動 機	同 × 0.7		發 動 機	同 × 0.7	
	プロペラ	同 × 0.75		プロペラ	同 × 1.0	
搭 載 艦 ノ 部						
水 上 偵 察 機 (一機搭載ノモノ)	機 體	常備數 × 2.0	水 上 偵 察 機 (二機以上搭載ノモノ)	機 體	常備數 × 1.5	
	發 動 機	同 × 1.5		發 動 機	同 × 0.8	
	プロペラ	同 × 1.5		プロペラ	同 × 1.0	

備 考

二八ノ五

- (一) 常用数トハ兵器簿ニ依ル常用数ナリ
- (二) 常備数トハ兵器簿ニ依ル常用、補用ノ合計数ナリ
- (三) 更新数ハ新品ヲ標準トス
- (四) 算定ニ於テ小数點以下ノ端數ハ之ヲ四捨五入ス
- (五) 機種ノ増減及新規供給ノ場合ハ本算定率ニ依リ更新数ヲ増減スルコトヲ得
- (六) 一所轄内ニ於テハ固有及臨時増置ニ對スル同一機種ノ更新数ハ相互融通スルコトヲ得

(軍機内ニ)

0844

●戦闘馬力使用ニ關スル件

昭和十九年十月三十一日
航空機第一三一六四號

(海軍航空本部長ヨリ各艦隊、鎮守府各隊
長、各航空隊司令官、各航空隊司令官)

戦闘馬力使用ニ關スル件照會

首題ノ件左記ニ依リ實施相成度

記

一 目的

現用飛行機ヲ改造スルコト無ク戦闘中又ハ其他ノ飛行ニ於テ
短時間ノ優速ヲ得以テ作戦目的達成ニ資スルニ在リ

二 使用時期

使用者ノ意圖ニ依リ如何ナル時期ニ使用スルモ差支無シ
但シ作戦行動中以外ハ一般ニ使用セザルヲ建前トス

三 適用機種、同發動機並ニ使用燃料

(4) 適用機種及同發動機

機 種	装 備	發 動 機	給 入 壓 力	回 轉 數	記 事
零式艦戰二型及五二型	榮	三〇型	(+)	三〇〇	「エコノマイザ」初流ヲ(一九〇 ニ變更スルヲ要ス
雷電 竝 雷電改	火 星	三〇型 三〇型甲	(+)	四五〇	二、六〇〇
月 光 一 一 型	榮	三〇型 三〇型乙	(+)	三〇〇	「エコノマイザ」初流ヲ(一九〇 ニ變更スルヲ要ス
流 星 一 一 型	榮	一 一 型	(+)	四〇〇	二、九〇〇
銀 河 一 一 型	榮	一 一 型	(+)	四〇〇	二、九〇〇 「メタノール」壓力ヲ、〇・九 ニ變更スルヲ要ス
彗 星 一 一 型	「アツタ」二〇型	一 一 型	(+)	二五〇	二、四五〇

第五類 航空 戦闘馬力使用ニ關スル件

二八ノ七

0845

第五類 航空 戦闘馬力使用ニ關スル件

二八ノ八

備考 二 右諸元ハ「アツタ」二〇型ヲ除クノ外、離昇給

入壓力、離昇回轉數ト同一ナリ

二 紫電、彗星一二型、彗星三三型、彩雲、天山、

一式陸攻及瑞雲ニ就テハ實驗中ニ付當分ノ間現狀

通使用ノコト

(四) 使用燃料

航空九一揮發油又ハ航空九一揮發油ニ「メタノール」噴射

四 實施要領

(イ) 雷電竝ニ同改、流星一二型、銀河一二型(譽一二型搭載

ノモノ)

彗星一二型

氣化器(噴射ポンプ)其他ノ調整ヲ特ニ變更スル要無ク現

狀ノ儘使用シテ可ナリ

(ロ) 零式艦戰二二型及五二型、月光一二型

氣化器「エコノマイザ」初流ヲ試驗臺ニテ(十二五〇耗吸氣

壓力ニ於テ流量一五〇立方種毎分ニ調整シ搭載スルカ正規

即(一二〇乃至一三〇)ニ調整シタルモノヲ更ニ濃ノ方ニ十

三乃至十五「ノツチ」回轉ス

(ハ) 銀河(譽一二型搭載ノモノ)

「メタノール」壓力、正規〇・八^{平方種} (標準) シ〇・九^{平方種}

ニ調整變更ス

五 要注意事項

榮發動機二二型、三一型及譽發動機一二型ニ於テ前項記載ノ

調整變更ヲ行ヒタル場合高力時混合氣稍過濃トナル

(註) 戦闘馬力トハ戦闘中又ハ其他緊急已ムラ得ザル場合ニ

於テ十分間以内連續使用ヲ許容スル最大給入壓力及最大

回轉數ニテ發生スル馬力ヲ謂フ

0846

●部隊用航空機ノ空中輸送實施ニ關

スル件

昭和十九年九月十五日
官房空機密第二四〇八號

當分ノ間現行諸規定ニ拘ラズ部隊用航空機ノ空中輸送實施ニ關シ左ノ通定ム

昭和十六年官房機密第一二六六三號ハ之ヲ廢止ス

- 一 部隊ニ對シ空中輸送ニ依リ航空機ヲ供給スルノ要アル場合海軍航空本部長ハ空中輸送計畫ヲ定メ別紙様式ヲ以テ關係艦隊司令長官、鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ海軍練習聯合航空總隊司令官並ニ關係各廳長ニ通牒スルモノトス
- 二 艦隊司令長官、鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ海軍練習聯合航空總隊司令官ハ前號空中輸送計畫ニ基キ麾下部隊及海軍工作廳ヲシテ空中輸送ヲ實施セシムルモノトス
- 三 艦隊司令長官、鎮守府司令長官、警備府司令長官又ハ海軍練習聯合航空總隊司令官ハ海軍航空本部長ノ空中輸送計畫ニ基キ必要ト認ムル場合海軍工作廳又ハ民間工場ニ飛行並ニ整備關係員ヲ派遣シ空中輸送ニ關スル作業ヲ援助セシムルコトヲ得

第五類 航空 部隊用航空機ノ空中輸送實施ニ關スル件

四 所要經費ハ臨時軍事費、臨時軍事費、造船造兵及修理費、造修費（空）支辨トス但シ所要旅費ハ臨時軍事費、臨時軍事費、雜給及雜費、出張旅費支辨トシ請求ヲ俟テ別途配付ス

〔軍機内七〕

0847

二八ノ九

(別紙様式)

第五類 航空 部隊用航空機ノ空中輸送實施ニ關スル件

二八ノ〇

							機種
							場所
							航空分輸
							機數
							期完
							日成
							擔空
							任輸
							供給元
							空輸先
							場兵裝施
							所行
							備
							考

0848

軍械内十二

改正 昭和二〇年第一五四號、第四〇一號、第七八五號、第九一五號、第一〇四八號

海軍大臣ヨリ横、吳、佐、大、高、
榎、野、聯合航空總隊、聯合艦隊、第二、第三、
第十二航空艦隊司令長官宛

二 協力部の編制

當該航空基地所在ノ首席部隊指揮官（部隊アラザル場合ハ所
在首席武官）ヲ部長トス、部長ハ現地ノ事情ニ應ジ所在ノ部
隊及擔任海軍航空廠職員若干名ヲ部員トシテ協力部ヲ組織シ
所要ニ依リ之ニ下士官、兵及海軍航空廠工員ヲ配屬スルモノ
トス

三 援助作業

宿泊、食事等一切ノ援助ヲ爲スモノトス

四 所要器材燃料等ノ準備

飛行機整備用器材ハ海軍航空廠ニテ準備シ其ノ他ハ所在部隊ノ兵備品ヲ以テ準備スルモノトス

五、共、他

(4) 空中輸送飛行機指揮官（單機ノ場合ハ機長）ハ航空基地

二八ノ二〇ノ二

第五類 航空 飛行機空中輸送協力ニ關スル件

使用ノ際豫メ空中輸送協力部ニ連絡ノ上要望事項ニ就キ協議スルモノトス

(四) 主要航空基地所在ノ部隊及擔任海軍航空廠ハ豫メ各協力部應援配置ヲ定メ置キ協力部ノ要求ニ依リ速ニ作業員ヲ派遣スルモノトス

(ハ) 協力部事務所ニハ「某飛行機空中輸送協力部」ノ標札等適當ナル標識ヲ掲ゲ之ヲ明示スルモノトス

附 令

昭和十九年官房空機密第一八七二號ハ之ヲ廢止ス

二八ノ一〇ノ二

0850

●飛行機ノ味方識別及航空管制ニ關スル件

昭和十九年十二月十一日
軍務一機密第一一五四號

(陸軍省軍務局長ヨリ關係各廳長宛)

飛行機ノ味方識別及航空管制ニ關スル件申進

防空警報ノ發令及解除ニ關シテハ生産トノ關係モ有之其ノ要否、時機等慎重考慮ヲ要スルヲ以テ當事者ニ於テハ敵情判斷資料ノ獲得及選擇ニ苦心ヲ重ネツツアル處味方機ノ誤認、誤報依然跡ヲ斷タズ爲ニ不必要ナル警報發令或ハ味方打ノ不祥事ヲ惹起セル事例アリシハ誠ニ遺憾ニシテ斯クテハ不知不識ノ間警報ニ對スル信用ヲ失ヒ眞ノ敵襲ニ對スル警戒ヲ怠ル場合ヲ生ズル惧ヲモ懸念セラルルヲ以テ各部ニ於テハ飛行關係者ニ對シ航空管制規程ノ嚴守、飛行機ノ味方識別及行動豫報等ノ勵行方更メテ注意喚起セラルルト共ニ一方見張監視關係者ニ對シ飛行機ノ識別教育ノ徹底、行動豫報ノ迅速ナル通達及之ニ要スル通信施設ノ整備等ニ一段ノ考慮ヲ拂フ様可然指導相成度
尙海軍徵備機ノ取扱ニ關シテハ配屬各部ニ於テ右ニ準ジ指導ノコトニ取計ハレ度

第五類 航空 飛行機ノ味方識別及航空管制ニ關スル件

追テ本件ニ關シテハ陸軍側ニ對シテモ屢注意喚起致シアリ陸軍トシテモ此ノ際更ニ一層ノ注意ヲ拂フ管ニ付申添條

(軍務內八)

0851

二八ノ一〇ノ三

第五類 航空 無通報飛行取締ニ關スル件

●無通報飛行取締ニ關スル件

昭和十九年十二月十一日
軍務一機密第一一五五號

(海軍省軍務局長ヨリ關係各廳長宛)

無通報飛行取締ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ陸軍ニ於テハ別紙ノ通牒セラレアルニ付含ミ置カレ度

(別紙)

昭和十九年十二月二日陸軍密第一二三四號(陸軍次官)

無通報飛行取締ニ關スル件陸軍一般へ通牒

無通報飛行ノ本土防衛作戰ニ及ホシツツアリ惡影響極メテ深刻ナルモノアルヲ以テ關係所管長官ハ陸軍密第一〇四一二號ノ確守特ニ飛行通報ヲ飛行開始前迄ニ確實ニ飛行地域ヲ管轄スル軍司令官ニ到達セシムル件ニ關シ部下ヲ指導監督シ怠惰若ハ不注意ニ基ク違反者(要スレハ其ノ監督責任者)ニ對シテハ嚴ニ處斷セラレ度尙自今別ニ指示アル迄左記ニ依リ無通報飛行ノ取締ヲ實施スル如ク定メラレタルニ付依命通牒ス

左記

二八ノ一〇ノ四

一 内地各軍司令官ハ其ノ管内ニ於テ無通報飛行アルトキハ機ヲ失セス之ヲ調査シ防衛總司令官ヲ經テ陸軍大臣ニ報告スルト共ニ關係所管長官ニ通報スルモノトス

前項調査ノ爲内地各軍司令官ハ關係飛行場長等ニ所要ノ要求ヲ爲スコトヲ得

二 無通報飛行實施者所屬部隊ノ所管長官ハ其ノ事由及之ニ對シテ探リタル處置ヲ速ニ陸軍大臣(作戰軍ニ在リテハ陸軍大臣、參謀總長)ニ報告スルモノトス

0852

●航空用呂號兵器委員會組織ニ關ス

ル件

昭和十九年九月三日
官房空機密第二三〇六號

(海軍大臣ヨリ海軍省府司令長官宛)

航空用呂號兵器委員會組織ニ關スル件訓令

横須賀鎮守府司令長官ハ左ニ依リ航空用呂號兵器委員會ヲ組織シ航空關係呂號兵器ノ研究及試作促進ニ任ゼセシムベシ

記

一 研究試作事項

(イ) 呂號飛行機ノ設計試作竝ニ研究實驗

(ロ) タービンロケット及呂號藥液ヲ使用スル原動機ノ研究實驗竝ニ設計試作

(ハ) 呂號藥液ヲ利用スル搭載航空兵器、基地兵器ニ關スル設計試作竝ニ研究實驗

(ニ) 研究實施ノ要領
(イ) 前諸項ノ外海軍航空本部長ヲシテ委員長ニ通牒セシム

(イ) 呂號委員會ト密接ナル連絡ヲトルト共ニ陸軍ト協力シ斬新有効ナル各種航空兵器ノ實現ヲ促進スルモノトス

第五類 航空 航空用呂號兵器委員會組織ニ關スル件

(軍機内七)

(ロ) 研究及試作ハ海軍航空技術廠ニ於テ實施スルノ外要スレバ部内各廳、部外研究所又ハ民間會社ニ委託若クハ註文スルモノトス

三 委員長及委員

委員長ハ海軍航空技術廠長、委員ニハ部下ノ職員ヲ以テ充ツルノ外海軍省軍務局、軍需局、軍令部、海軍航空本部、海軍艦政本部、海軍技術研究所ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

四 所要經費

臨時軍事費、研究費、船體機關及兵器研究費(空)支辨トス

0853

●航空兵器供給整理ノ件

昭和十九年八月十日
航本機密第九九三四號

(海軍航空本部長ヨリ關係各廳長宛)

航空兵器供給整理ノ件通牒

今次改編ノ甲及乙航空隊ニ對スル首題ノ件左記ニ依リ處理相成
度

記

- 一 甲航空隊ガ乙航空隊擔任基地ニ移動スル場合ハ飛行機(兵裝ヲ含ム)及點檢整備ニ必要ナル兵器ハ甲航空隊之ヲ携行スルモノトス
- 二 乙航空隊ニテ必要ナル基地兵器及整備兵器竝ニ一般用消耗品ハ基準兵器簿(基地用)ニ依リ之ヲ供給ス但シ基準兵器簿發付迄別表ノ標準ニ依リ供給スルモノトス
- 三 甲航空隊用火工兵器及魚雷、機雷竝ニ附屬兵器ハ別ニ指示スル所ニ依リ甲航空隊、艦隊司令部又ハ乙航空隊ニ供給ス
- 四 甲航空隊ノ一部乙航空隊擔任基地進駐ノ場合其ノ期間必要ナル兵器ハ左ニ依リ乙航空隊ニテ整理スルモノトス

(イ) 飛行機(兵裝ヲ含ム)ハ甲航空隊飛行機定數内ニテ乙航空隊之ガ供給ヲ受クルコトヲ得

乙航空隊ニテ供給ヲ受ケタル飛行機(兵裝ヲ含ム)ヲ甲航空隊携行移動ノ場合ハ甲航空隊ニ供給換ス

(ロ) 補用品及主體兵器ノ消耗品ハ甲航空隊基準兵器簿定數内ニテ乙航空隊之ガ供給ヲ受ケ甲航空隊兵器ノ整備ニ任ズルコト

(ハ) 甲航空隊他ニ基地移動ノ場合ハ前二項ニ依リ供給ヲ受ケタル殘存兵器ハ速ニ最寄海軍航空廠ニ還納スルモノトス

(ニ) 甲航空隊用兵器ヲ乙航空隊ニテ整理スル場合ハ證憑様式艦船部隊名下方ニ括弧ヲ附シ甲航空隊名ヲ併記スルノ外一般供給整理ニ同ジ

(ホ) 乙航空隊ニ編入中ノ甲航空隊ニ屬スル兵器ノ諸手續等ハ乙航空隊ニ於テ行フモノトス

0854

(別紙)

飛行長主管第一類ノ部

品名	数	計	事
救護自動車	台	一	(一) 本定数
乗用自動車大	台	一	ハ一基地
同小	台	三	ニ對スル
貨物自動車	台	四	モノヲ示
同	台	二	(二) 計器試
作業自動車	台	一〇	驗シアル
燃料自動車	台	一〇	備シアル
補給水自動車	台	一	之ヲ供給
一號牽引自動車一型	台	一	セズ
二號牽引自動車一、二型	台	一	(三) 〇印ハ
三號牽引自動車一、二型	台	一	中樞基地
四號牽引自動車	台	一	(四) ノミトス
自動自轉車	台	一	上ノ記以
起重機自動車	台	一	外ノ整備
	台	一	兵器ノ供
	台	一	給ハ別ニ
	台	一	之ヲ指示
	台	一	セシム

第五類 航空 航空兵器供給整理ノ件

地均自動車	台	三
草刈自動車	台	一
燃料補給車	台	三
携帶要具一般共用	組	三〇
野外天幕	組	七
機体補修要具箱共	組	二
機体要具同	組	四
空氣壓搾ポンプ車輪用	個	四
高度計試驗器陸上用	組	一
速度計試驗器	組	一
酸素吸入器試驗器	組	一
〇動搖試驗器自動操縱裝置用	組	一
轉輪計器調製要具箱共	組	一
眞空ポンプ調製用器	組	一
酸素吸入器試驗器携帶用	組	六
〇電動ガス充填裝置	組	三
手動ガス充填裝置	組	一

二八ノ三

(軍格内七)

0855

第五類 航空 航空兵器供給整理ノ件

炭酸ガス充填器具	組	三
台	個	一
空氣壓機 電動機附	組	二
酸素充填装置	組	二
空氣壓機 一型、二型、ガレリ式	組	四
移動輕便發電裝置	組	二
發動機運搬車 (小、大)	個	二
潤滑油加熱車	台	一八
發動機手入台	個	六
外部要具	組	八
内部要具	組	六
プロペラ試験台	個	一
プロペラ鈎合試験器 (二型)	組(個)	一
プロペラ角度測定器	組	一
定規 用プロペラ	組	一
氯化器試験器	組	一
回轉速度計試験器 陸上用型	組	一

二八ノ四

二 飛行長主管第二類

基準兵器簿基地隊ノ定數ニ依リ供給スルモノトス

三 通信長主管(航空)

別ニ指示スル所ニ依ル

溫度計試験器 陸上用	組	一
油壓計試験器 潤滑油燃料油兼用	組	一
燃料計試験器	組	一
張力測定器 リンダ用	個	二
磁石發電機勵磁器	組	一
磁石發電機試驗器	組	一
充電用發電機試驗器	組	一
揮發油檢知器 携帯用	組	三
發動機檢査要具 箱 共	組	一
可變ピッチプロペラ整備要具 箱 共	組	一
可變ピッチプロペラ檢査要具 同	組	一
燃料油 滴	個	八
定溫乾燥器 陸上用 附屬品共	組	一
一般用消耗品	若干	

0856